

医学系研究に関する情報の公開について

(31-04)

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	Incidence and Characteristics of Cystoid Macular Edema after 25-Gauge Vitrectomy for Rhegmatogenous Retinal Detachment (邦題：裂孔原性網膜剥離に対する25ゲージ硝子体手術後の嚢胞様黄斑浮腫の発症率と特徴)
所属科*	眼科
研究責任者*	岩間 康哲
研究実施期間	開始 西暦 2019年 1月 1日 ~ 終了 西暦 2020年 3月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	裂孔原性網膜剥離に対して25ゲージ硝子体手術を施行した患者数 (500 - 600 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2014年 1月 1日 ~ 至 西暦 2017年 12月 31日
研究概要*	本研究は裂孔原性網膜剥離に対する25ゲージ硝子体手術後の嚢胞様黄斑浮腫の発症率と特徴について検討するものである。 嚢胞様黄斑浮腫は、網膜剥離に対する硝子体手術後に散見され、場合によっては追加加療を必要とするがその発症率やrisk factor および転帰などの臨床学的特徴についての報告はない。 そのため、本研究で裂孔原性網膜剥離に対する硝子体手術後の嚢胞様黄斑浮腫の発症率および上記臨床学的特徴について後ろ向きに検討する。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	1. 個人情報の保護 本研究で得られた情報は、個人を識別することができる情報を除きその方と関わりのない匿名化された番号をつける。匿名化された番号との対応表は当部署で厳重に保管する。 2. データの公表 本研究で得られたデータを発表する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみ提供する。学会や論文等で研究結果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。

別紙第2号様式

	<p>3. 患者さまに生じる危険</p> <p>本研究では後ろ向きにデータを収集するため、診療自体に影響が出ることはない。したがって、この研究の結果新たに患者さまに危険が生じることはないと考えられる。</p>
研究の問い合わせ先*	<p>独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院 眼科 岩間 康哲 Email: iwama.opthal@gmail.com</p>

*記入必須項目